

2020年2月25日  
日本銀行釧路支店

## 道東地域<sup>1</sup>の金融経済概況

### 【全体感】

道東地域の景気は、持ち直している。

すなわち、公共投資は、緩やかに増加している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、弱めの動きが広がっているものの、基調としては緩やかに持ち直している。生産は、持ち直しの動きが鈍化している。労働需給は、引き締まっている。

足もと新型コロナウイルス感染症の影響がみられており、先行きについては、その影響の広がりを注視していく必要がある。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

1月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

主要企業の19年度設備投資は、前年を下回る計画となっているが、高水準を維持している。この間、農業や物流関連などでは、引き続き新規投資がみられる。

12月の建築物着工床面積は、前年を下回った。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

12月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったものの、持家、分譲は前年を下回り、全体では前年を上回った。

個人消費は、弱めの動きが広がっているものの、基調としては緩やかに持ち直している。

主要小売店の売上高（12月）は、前年を下回った。

---

<sup>1</sup> 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（1月、含む軽）は、普通・小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回り、全体としても前年を下回った。家電販売は、消費税率引き上げに伴う駆け込みの反動減により、弱めの動きとなっている。

旅行・観光関連をみると、主要温泉地の宿泊人数（12月）、市内ホテルの宿泊人数（12月）ともに前年を下回った。この間、空港乗降客数（12月）は、前年を上回った。

## 2. 生産

生産は、持ち直しの動きが鈍化している。

主要生産品目別（12月）にみると、乳製品は好調な生乳生産を背景に前年を上回っている。水産加工品は加工魚種によって区々の動きとなっており、全体では弱めの動きとなっている。紙・パルプ製品は前年を下回っている。

## 3. 雇用

労働需給は、引き締まっている。

12月の有効求人倍率は、26か月連続で前年を上回った。

## 4. 企業倒産

1月の企業倒産は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

## 5. 金融情勢

預金残高は、流動性預金を中心に増加している。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、既往ボトム並みで推移している。

以 上